

を崩された方もなく、いつも通りご来園頂いていることに、担当一同うれしく感じております。

さて、風はまだ冷たいものの、日脚が延びたことで、暖かく感じられる日も少しずつ増えてまいりました。そのような季節を感じられるよう、外気浴や散歩をご提案する機会も増えました。また、今年は日々の体操のレクリエーションに加え、しりとりや文字の並び替えなど、知的ゲームの提供にも取り組んでおります。

美山居宅支援センター

令和2年12月〜令和3年2月迄のケアプラン作成数をご報告します。

12月	56件
1月	57件
2月	58件

チョット素敵な出会い

年度末のこの時期、当施設（センター）の運営方針の中にある「三つの修養」について、今一度振り返っておきたく、ご紹介させていただきます。

(1) 正しく見極める英知

私達は日常業務でアセスメントや認定調査などを行う場面があります。ある一定の法則に則り、また、マナーを遵守しつつ行いますが、その法則の解釈やマナーの経験値によっては、その状態像の事実把握を間違えてし

まうリスクがあります。

96歳になる男性が『今の自分の状態は悪くないと思うよ。これからも用心しながらやっていく、自分できてること？例えば日光浴とか？』と、答えていただきました。専門職の英知（質問力）には長老者の英知を引き出せる可能性が潜んでいます。

(2) 受け入れることのできる豊かな心

私達は日常業務で、ありのままの事実に対して私見を介入させず客観的に把握し、受け入れる場面が多くあります。この時、私達はこの個性（個人情報）に対して少なからず精神的な葛藤を覚え、自己コントロールを余儀なくされます。

排尿（トイレへ行く）回数が多くなるから心不全予防の利尿剤を飲まないという、基礎疾患に調節リウマチを持つ94歳の男性に、「気持ち、わかるよ。困ってるよね、一緒に考えながら行こうよ」と人格の尊重ケアを提供した男性薬剤師とのトツテモ素敵な出会いがありました。慢性疾患の悪化とそれに伴う暮らしにくさの両方を受容する困難さは日常的にあります。

(3) 変えることのできる勇氣

受容ができたなら、次は意識の変革が実践できるかどうか。まさにケアプラン変更のタイミングです。除草剤の散布によって両足のしび

れを訴えた92歳の女性は、自宅から離れば良くなるのではないかと、思つて長女宅へ住まいを替え、長女宅にいても治らないと相談を受け、デイサービスへの参加を促進しました。すると、「よくなつたわ、デイへ行ってよかつたわ。でも帰ってくる痺れるの、お泊り（ショートステイ）へ行こうかしら」とご本人。例えば妄想が根拠であつても身体的苦痛に対していろいろな体験を通じて、積極的に自己解決を模索し、自己決定をもとに自己実現されたモットモ素敵なこの勇氣ある女性は本日特養ホームへご入居されます。

英知・豊かな心・勇氣この三つの修養をケアマネジメント手技として新年度も業務を展開して参ります。

（文責・松崎）

美山通所介護サービスセンター

活動報告状況

2月	1月	12月	月
210人	217人	255人	延利用人数
20日	20日	21日	延日数
10.5人	10.9人	12.1人	1日平均人数
4人	4人	4人	事業対象者
5人	4人	4人	要支援1
40人	42人	44人	要支援2
65人	68人	93人	要介護1
63人	65人	71人	要介護2
20人	22人	16人	要介護3
7人	8人	10人	要介護4
6人	4人	13人	要介護5

12月から2月までの主な活動状況を報告させていただきます。

12月 クリスマス会

手作りおやつ（ケーキ）
年賀状づくり

1月 正月遊び

手工芸（和風置物作り）
誕生日会（2名）

2月 手工芸（ひな人形作り）
誕生日会（1名）

コロナ禍のなか、美山通所介護サービスセンターでは、来所されるご利用者が安心して過ごしていただくために、次の取り組みを実施しています。

- ① 送迎時や来所時の検温の実施。
- ② 来所時の手洗いの徹底や3回以上の手指消毒の実施。
- ③ 送迎車内の消毒や送迎時のマスクの着用。
- ④ ご利用されたテーブルなどの消毒。
- ⑤ フロア内の換気の実施

その他、ご利用者様にはご不便をおかけいたしますが、ご利用中においても可能な限りマスクの着用をお願いしております。

また、レクリエーション活動では、気候の良い日はペランダにて三浦半島のお山々や遠くは富士山を眺めながら、歩行訓練を実施したり、ご利用者様の希望に応じた個別レクや創作レク、ゲームレクなどを充実させ、ご利用者様に有意義な時間を過ごしていただいております。